

審議会会議録

1	会議の名称	平成 28 年度第 3 回富津市子ども・子育て会議
2	開催日時	平成 28 年 12 月 22 日 午後 1 時 30 分～午後 2 時 35 分
3	開催場所	富津市役所 502 会議室
4	審議等事項	○報告事項 （１）情報提供についてのアンケート結果について （２）富津市民文化祭子どもまつり「育*LABO」実施結果について ○議題 （１）富津市の今後の子ども・子育て支援について （２）その他
5	出席者名	委員 宮里幸樹、井上久吏子、芥子剛尚、高橋多賀子、鈴木眞廣、 岩瀬志帆、岡村京子、松倉佳子、渡辺務、竹谷覚治 事務局 市長、磯貝健康福祉部長、下間子育て支援課長、小柴保育係 長、中山子ども家庭係長、田嶋副主査、学校教育課須藤主幹、 学校教育課三浦指導主事、圓川総括保健師
6	公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7	非公開の理由	
8	傍聴人数	1 人（定員 5 人）
9	所管課	健康福祉部子育て支援課子ども家庭係 電話 0439-80-1256
10	会議録（発言の内容）	別紙のとおり

平成 28 年度第 3 回富津市子ども・子育て会議 会議録

発言者	発言内容
<p>事務局：中山</p> <p>高橋市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の確認 1 開会 2 市長挨拶 ・次世代に自信を持ってバトンを渡せる富津市を訴えさせていただいた。 ・今の富津市の課題のうち、大変大きな分量を占めるのが少子化による人口減少だと思っている。 ・少子化に歯止めをかけるには、地域をどこにも負けない子育て環境にすることが必要。 ・地域を回っていてお父さん、お母さんは子育て環境がいい中で育てたいけれども、まだまだ足りないものもあるとの声を多く聞いた。 ・是非いろいろな視点から、行政が今どのようなことをすべきかご意見をいただき、富津市の子育てが日本一の環境にできるようお力添えをお願いします。 ・会議の成立
<p>事務局：中山</p>	<p>嶋田委員、白井委員、相澤委員、渡辺（武）委員、平野委員 5 名が欠席、松倉委員は遅れるとの連絡あり。10 名の委員の方が出席しており過半数を超えているので、子ども・子育て会議設置条例第 6 条第 2 項の規定により、会議は成立する旨報告。</p>
<p>事務局：中山</p> <p>渡辺会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の公開 この会議は、富津市情報公開条例第 23 条の規定により公開する。 傍聴人 1 名あり。 3 会長挨拶 千葉大学廣井良典教授が持続可能な福祉社会を研究

	<p>している。人生後半の社会保障があり、一方で前半の社会保障がある。</p> <p>医療・介護・年金など、よく取り上げられる施策は人生後半。前半はなおざりにされてきた。子育て支援や学校卒業した若い人、生産年齢人口にこれから入っていく人たちに対する施策がこの国は不足しているという観点で研究している。</p> <p>雇用、出産育児、父母の不安解消、都市と地方の両方に関わると私は考えている。富津市がどうやって解決していくか、この会議に課せられた命題。</p> <p>こうした視点を持って人生前半の社会保障を念頭に入れておくと素晴らしい議論ができると思う。皆さんの意見を頂戴したい。</p>
渡辺会長	<p>4 会議録署名人の指名</p> <p>会長のほか、高橋委員にお願いする。</p>
渡辺会長	<p>5 報告</p> <p>< (1) 情報提供に関するアンケート実施結果について ></p> <p>報告 (1) 情報提供に関するアンケート実施結果について事務局の説明を求める。</p>
事務局：中山	<p>《資料1について説明》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回会議で実施について了承を得、その実施結果をまとめたもの。 ・配布及び回収期間は10月14日から21日までの平日6日間。2つの子育て支援センター利用者に対して実施。 ・配布数は不明だが、44と19の回答を得た。 ・回答は別添のとおり。 <p>○意見、質疑</p> <p>なし</p>

<p>渡辺会長</p>	<p>< (2) 富津市民文化祭子どもまつり「育*LABO」実施結果について ></p> <p>報告 (2) 富津市民文化祭子どもまつり「育*LABO」実施結果について、当日参加の井上委員の説明を求める。</p> <p>《資料 2 について説明》</p>
<p>井上委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・親子連れに突撃インタビュー、ブースでの PR 展示を行った。 ・壁に貼り出したものは、当日お母さんたちから寄せられた声。 ・声掛けのきっかけは「富津市の子育て支援は満足？不満？」と尋ね、シールを貼ってもらった。 ・資料はいただいた意見を内容が近いものを整理し、まとめた。 ・不満ばかりでなく、富津市もいいところあるよと話してくれる人もいた。また、不満もないけれど、満足もない。だからと言って何をして欲しいというものもないという人もいた。 ・当日参加した感想としては、いろいろな意見を聞きたかったので、とりあえず、意見を聞いたことは成功と思う。 ・当日、意見を見た会長が「富津の課題が見えてきたような気がする」とおっしゃったのが印象的だと、今日は欠席の鶴田委員が言っていた。 ・今回限りではなく、次回は 1 月 29 日日曜日に佐貫コミュニティセンターで開催したいと考えている。
<p>宮里委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・満足している人に特徴があった。青堀地区に住んでいる人は満足度が高い。一方で南に行くほど支援が足りていないと感じているお母さんが多い。 ・子どもが小さい頃にこういう情報が欲しかったとか、富津市が取り組んでいることを初めて知ったという人が多かった。 ・情報の PR の仕方にもう少し力を入れていたらと

	<p>感じた。</p>
<p>鈴木副会長 渡辺会長</p>	<p>○質疑・意見 会長が見えた課題とは？ 南と北のエリアの違い。出生率が南で低いかという と違う。どう読み解くか。 お母さんたちに欲しい情報がうまく届いていないと 感じた。あればいいのにと思ったことが実施していたり、 知っていたらもっと利用したのにとという声。PRが 足りない。どうしたらよいかが課題。 今回のアンケートは同じお母さんがやってくれたので 聞けた。</p>
<p>鈴木副会長</p>	<p>北高南低。具体的には？公園がきれいとか、そうい ったことではないだろう。</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>中山間の人たち。おじいちゃんおばあちゃんとの同 居の比率が高い。子育ての担い手があって、若い夫婦 の負担が少ないと漠然と思っている。その辺の論点整 理をして、研究する必要があると思っている。</p>
<p>鈴木副会長</p>	<p>都会と田舎の違い。地域によって支援の中身が違う。 その辺を「見える化」することが必要。</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>事務局は何かあるか。</p>
<p>事務局：下間課長</p>	<p>市が聞くアンケートとは違い、同じ目線で質問して いただいたので、たくさんの意見を聞けたと思ってい る。</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>6 議題 < (1) 富津市の今後の子ども・子育て支援について > 議題 (1) 富津市の今後の子ども・子育て支援につ いてを議題とする。 事務局の説明を求める。 《第2回会議意見について説明》</p>

<p>事務局：下間課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・天羽地区の学童保育の設置場所は、小中学校の統廃合の今後を考慮する。 ・情報発信ははがきとメールで予算要求はした。査定、措置はこれから。 <p>《資料3について説明》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料3は市の子育て支援のメニュー体系図。 ・妊娠中から6歳までのそれぞれの年齢に対応した支援メニューを網掛けで表記。 ・以前に子ども・子育て会議から報告書という形でいただいたものを破線の囲みで表記。 ・網掛けもなく、破線もないところ、空白のところサービスが手薄になっていると考えている。 <p>《市長公約について説明》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育料第3子以降無料化は、本年4月からの国の制度として実施している所得の低い人の第3子以降無料化を、要件を撤廃する予定。 ・子育て相談窓口を開設する。何でも話せる窓口を市民に分かりやすいよう設置する予定。 ・不妊治療費助成 ・電子母子手帳の作成 <p>平成29年度中の実施を目指す。</p> <p>学童保育クラブ設置に影響のある小中学校再配置計画の策定について、学校教育課から説明する。</p> <p>《小中学校再配置計画の策定について説明》</p>
<p>須藤学校教育課主幹</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年2月小中学校再配置構想策定 ・富津市人口ビジョン2040では児童・生徒数の減少が見込まれている。合わせて、公共施設総合管理計画では小中学校は児童・生徒数を考慮しつつ、適正配置を検討することとされた。 ・学校の再配置には多面的な要素があるが、児童生徒の教育条件の改善を一番に考え、児童生徒がさらにたくましく、健やかに成長できるよう、再配置構想を一

歩進め、再配置計画を策定しようとするもの。

・今後、保護者、地域住民に説明会を行い、いただいた意見を参考に再度検討した上、議会、教育委員会に諮り案を外す予定。

・個別再配置計画を作成し、必要な予算要求を行う予定。

・資料 P2 児童・生徒数の推移。複式学級の存在する小学校は、H27 年度は 3 校、H33 年度からは 4 校が見込まれる。中学校では学年 1 クラスの学校が、H27 年度から 2 校。

・P3 老朽化による大規模改修等を実施していない学校は、小学校で 8 校、中学校で 4 校ある。

・P5 文部科学省が示す望ましい学級数 小学校は 1 学年 2 学級以上（全校で 12 学級以上）、中学校で 1 学年 3 学級以上（全校で 9 学級以上）とされている。また、通学時間は、適切な交通手段を確保でき、かつ遠距離通学や長時間通学によるデメリットを一定程度解消できる見通しが立つことを前提として「おおむね 1 時間以内」と一応の目安が示されている。

・市では適正規模としては、小学校では 1 学年 1 学級以上、中学校では 1 学年 2 学級以上が必要と考える。

・再配置の概要は、H32 年度までに天羽地区 4 小学校の再配置、天羽中学校と天羽東中学校の再配置、大貫中学校と佐貫中学校の再配置。

・登下校はスクールバス等の利用により、安全安心な交通手段を確保する。

・スクールカウンセラーの活用により、児童生徒の心のケアに十分な配慮を行う。

事務局：下間課長

金谷保育所の再配置にも関係があるので説明した。
支援メニューは次回第 4 回会議で意見を伺う。

○質疑・意見

鈴木副会長	<p>体系図、実施しているものも、独立してそれぞれがやることも必要だが、お互いが絡み合う、意識していないと他につながらない。生きていかないことも出てくる。</p> <p>市長公約の第3子以降無料化は、所得制限撤廃するとのくらい予算が必要なのか。</p>
磯貝健康福祉部長	<p>保育に係る部分でおおよそ2,200万円、幼稚園に係る部分で600万円程度を見込んでいる。</p>
鈴木副会長	<p>国の施策でもあれもこれもは難しいが、第3子まで辿り着けない人がある。第1子第2子の保育料が高くて入れないと思っている人もいる。今後の課題。</p> <p>秋田へ行った時の話。なまはげが周っていく家がない。子どもがいない。先ず、学校が統廃合で無くなった。店が無くなった。病院、GSもなくなり、とうとう住めなくなった。</p> <p>統廃合するということはどんなことが起きるのかみんな考えないといけない。学校以外の地域の核、意識に入れてほしい。</p>
須藤学校教育課主幹	<p>学校が地域のコミュニティ、核と認識している。跡地利用でそこが地域の核となるよう、全庁的に検討していく。</p> <p>< (2) その他 ></p>
渡辺会長	<p>議題(2)その他として、委員の皆さんから何かあるか。事務局からあるか。</p>
事務局：中山	<p>報告と連絡。ファミリーサポートセンターの会員登録状況と活動状況を報告する。</p>
事務局：田嶋	<p>11月末現在の登録数は、お願い会員43人、まかせて会員13人、どちらも会員5人、合計61人。</p> <p>11月には19件の利用があり、4月から合わせて62件の実績となった。</p>
事務局：中山	<p>第4回会議の開催を年が明けて2月に予定している。会議開催は後日文書でお知らせするのでよろしく</p>

渡辺会長	お願いする。 本日の日程は終了した。以上で閉会とする。 14時35分 閉会
------	---